

箱根組ニュース

第342号 2021年10月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

乾徳山に青空が広がる。岩場、鎖場、草原、樹林帯、変化に富んだ山を十分に楽しむ。

新型コロナの緊急事態は9月末までまた延長になった。そんな中だが自然を求めて山に出かけた。

9月19日(日)、ずいぶん久しぶり乾徳山に向かった。過去のデータを見たら、箱根組が始まった2年後の1993年と1999年、そして2006年と3回登っていた。箱根組としては4回目の挑戦になった。

京王線新宿駅発6時8分の準特急高尾山口行きに乗車。高尾でJR中央線甲府行きに乗り換え、塩山駅に8時14分着。降り立ったのは、三田村、東郷、有倉、布施、佐藤、西川、奥村、戸丸の8名。

塩山駅の改札を出るとタクシーの運転手さんが迎えに出てくれていた。北口のトイレ付近で身支度をして2台のタクシーに乗り込む。タクシーは山に向かう。徐々に狭い林道になり高度をどんどん上げてゆく。

(※タクシーの運転手さんのお話で一つ引つかかることがあったので記して

おきます。二人の運転手さんとも下山の道満尾根は草深くルートもわかりにくいので歩かないほうがいいとの情報でした。我々は標識も確認して看板にはそのような情報はないので計画通り道満尾根を下りました。結果は道迷いもほとんどなくとても快適な尾根道でした。何か裏があるのかもしれませんが、そのような間違った情報は登山客を迷わせるので決して良くないと思いますし、あつてはいけないことと思います。)

9時20分頃、タクシーのおかげで標高1390mの大平高原側の登山口に到着。これから標高差約640mを上ることになる。それでも徳和川側の登山口二か所は標高800mと1000mで標高差1000m〜1200mほどになる。それと比較すればかなりの短縮ルートだ。各自ストレッチ、身支度をする。9時25分歩きだす。早速白樺の美しい林だ。緑の木々も美しい。道は途中古い林道になる。

9時50分、約25分で尾根に着く。



登山道は林道と合流している。尾根を右に上ってゆくのが山頂方面だ。左に降りれば道満尾根經由で徳和峠から集落へ出る。小休止。ここで東郷さんが眼鏡を落としたようで、歩きだしてから少し戻って見たが見つかからないので帰りに探そうということになった。

林道の横の山道を真っすぐ登って行く。岩がごろごろしていて乾徳山らしい雰囲気だ。雑木林の緑に木漏れ日が差し込み美しい。足元には小さなアザミが咲いている。

10時半頃には道は少し緩やかになる。木々が灌木のようになりトンネルをくぐってゆく感じだ。

現在の収支	
繰越	40293 円
入金	70 円
支出	
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	160 円
現在高	39703 円

打ち上げ残金50円、タクシー残金20円を会計に入れました。

10時42分、右側に岩が現れ、岩の上は青空が広がる。登ってみると右方向東側に山々が広がる。大菩薩から笠取山の尾根が広がっているようだ。その奥は奥多摩方向だ。小休止

11時、樹林帯を抜け広い草原に出る。大



菩薩の尾根を思い出すような気持ちのいい景色だ。草原の真ん中あたり右側に大きな岩が現れる。月見岩というらしい。登ってみると一段と景色が広がる。絶景だ。草原の向こう山頂方向に険しさを予見させる岩が見えている。11時15分、手洗い石。岩のくぼみに水が溜まっている。山頂まで1時間の標識がある。

再び樹林帯に入る。岩が大きくなり傾斜もきつくなってくる。

集合 10月17日(日) 京王線新宿駅
6:57発 特急高尾山口行き
(前から3両目)

途中駅発

明大前 7:03 調布 7:12 府中 7:18
分倍河原 7:20 聖蹟桜ヶ丘 7:23
高幡不動 7:26 北野 7:33

高尾 7:40着 (JR 乗り換え)
8:02 甲府行き 塩山 9:24着

○交通費 新宿～塩山 片道 1533 円
日帰り温泉 500～1,000 円位

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

10月17日(日) 塩山の塩ノ山 (552.8E) です。
ラクダコース 歩行約2時間
※電車バス内など、混雑時はマスクを使用しましょう。
塩山駅から徒歩15分ほどで登山口です。塩山の地名の由来になった塩ノ山。山頂でゆっくりして、塩山温泉に入浴予定です。
○持ち物 お弁当、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他。
●申し込みは 10月15日(金)まで
打ち上げ参加者はお知らせください。お店を予約します。

岩についている赤い矢印と赤いリボンが頼りになる。

11時54分、髭剃岩。縦に割れた形の岩の隙間は人がやっと通れるほどの幅だ。通過は遠慮した。

目の前に立ちはだかる岩が現れる。左から回り込むと梯子がついている。スリルのある岩場と鎖場の始まりだ。

12時、大きな岩に3本の鎖が付いているこれを登ってゆく。振り返ると雲の切れ間から黒い富士山が見えてきた。胎内岩を過ぎるとザイルの着いた岩場を通過。

12時20分、山頂手前の大岩に到着

した。垂直に見えるような10mほどの大岩だ。上りで渋滞しているのので右側から回路を利用して山頂に向かう。二本の梯子を登る。



12時30分、岩だらけの乾徳山

山頂2031mに到着。

山頂横で短めの昼食。

1時5分、

目の前に現れた富士山にシャッターを切って、下山開始。大岩を鎖で下

りる人と、う回路の人とで別れたが、来た道を下ってゆく。途中三田村さんがストックを岩の穴に吸い込まれるという事件があった。深く取り戻せなかった。2時15分、広い草原に戻る。草原越しに見える塩山市街の向こうに富士の景色が見事だ。月見岩で休んで樹林帯に入ってゆく。

3時15分、東郷さんが眼鏡を落とした現場に戻る。さあみんなで搜索開始というところで、佐藤さんの足元で嫌な音が・・・メガネは発見したが悲しい結末に。

ここからは道満尾根を下りてゆく。快適な下りだ。西川さんが転んでストック



が曲がってしまったが、大事には³至らずに済んだ。ストックに守られたと思う。

4時50分、徳和峠。動物除けのフェンスを開けて通過する。民家の横のコスモスがきれいだった。

5時5分頃、登山口バス停着。タクシ-を予約してその間に着替えと身支度をし、布施さんから冷たいビールをいただく。

塩山駅に到着し、西川さんは帰路に、残る7人は南口の食堂へ、ビール(日本酒)で乾杯、焼酎のボトルもいただいで楽しい打ち上げで一日が終了。



